

(2) 東北



東北地域では、景気は持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに増加している。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い。

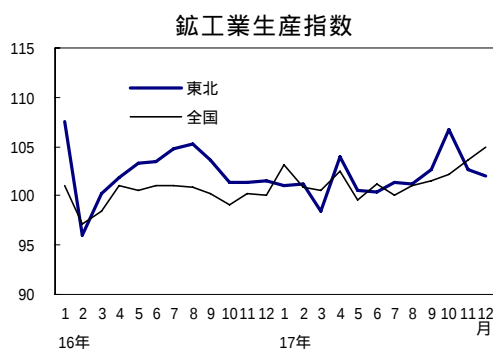
前回調査からの主要変更点

	前回（平成 17 年 11 月）	今回（平成 18 年 2 月）	
景況判断	やや弱含んでいる	持ち直している	↑
鉱工業生産	おおむね横ばい	緩やかに増加	↑
個人消費	やや弱含んでいる	おおむね横ばい	↑
雇用情勢	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い	↑

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は緩やかに増加している。

電子部品・デバイスは、サーミスタ・バリスタが引き続き高水準であるとともに、モス型半導体も自動車・携帯電話向けの需要が活発なことから好調となり、増加している。食料品・たばこは、ビール・発泡酒や水産缶詰などが低調に推移したため、減少している。情報通信機械は、春モデルのパソコンが好調だったものの、デジタルカメラや携帯電話が低調であったため減少している。一般機械は、自動車向けの金型が引き続き高水準であるとともに、半導体製造装置も好調だったため、増加している。電気機械は、工業用計測制御機器が好調だったものの、標準変圧器が低調に推移したことから、おおむね横ばいとなっている。



- (備考) 1. 12年=100、季節調整値。
2. 平成17年12月の東北は速報値。

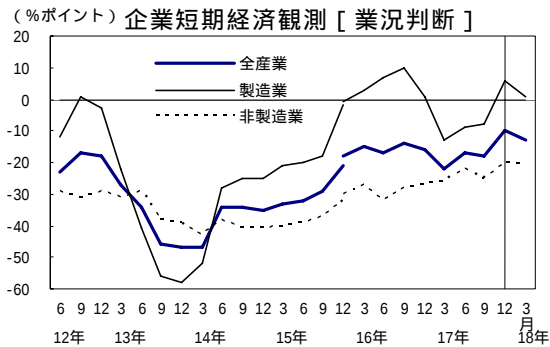
域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		7～9 月期	10～12 月期	10～12 月期	10～12 月期
電子部品・デバイス	19.3	2.3	6.3	4.8	▲18.2
食料品・たばこ	12.9	0.3	▲2.7	▲2.6	3.8
情報通信機械	11.6	8.8	▲5.4	▲8.1	▲4.4
一般機械	8.6	3.7	3.3	4.4	▲8.3
電気機械	5.8	1.6	0.2	▲1.6	0.5
鉱工業	100.0	0.2	2.0	0.8	▲7.8

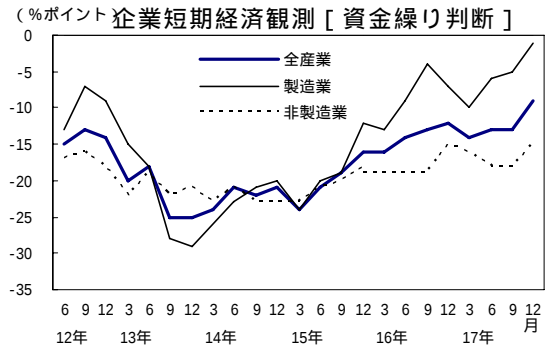
- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 10～12月期は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「苦しい」超幅がそれぞれ縮小している。

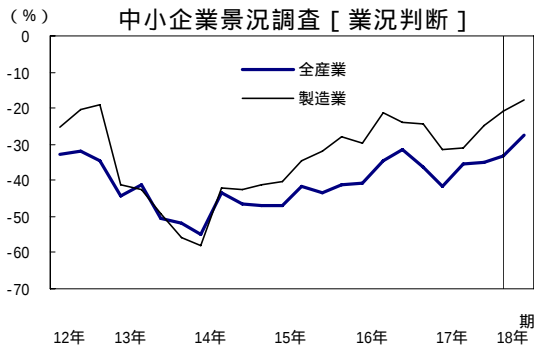
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。18年3月は予測。
15年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
15年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。18年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月)[企業動向関連(現状)]

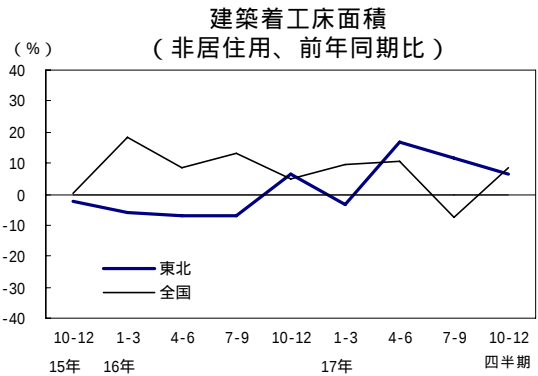
「今月の動きは鈍く、全体の受注量は増えていない。また、マンション関係の仕事は、耐震強度偽装問題で懸念していたが、大手の仕事は増えてきている(広告代理店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 17年度の設備投資は前年度とほぼ同水準の計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資 (12月調査)]

	(前年度比、%)	
	16年度実績	17年度計画
全産業	5.7	1.3(▲1.1)
製造業	12.4	1.1(▲6.2)
非製造業	▲0.8	1.4(4.9)

(備考)()は前回(9月)調査比修正率。



2. 需要の動向

(1) 個人消費はおおむね横ばいとなっている。

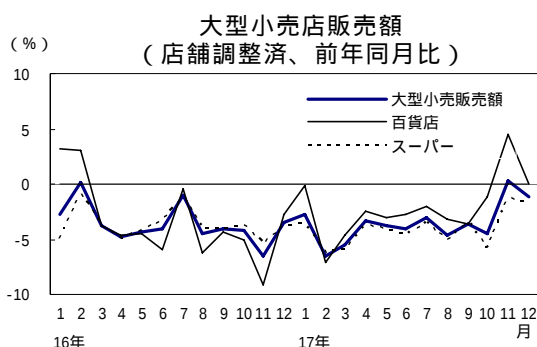
大型小売店販売額及びコンビニエンスストア販売額

百貨店は、10月は、身の回り品がアクセサリーや婦人ブーツなどに動きがみられたものの気温が高めに推移したことにより秋物を中心とした衣料品が振るわず、全体としては前年を下回った。11月は、アクセサリーや婦人ブーツが引き続き好調であり、また、前年より冷え込みが早かったためコートなどの防寒衣料に動きがみられたことなどから全体でも前年を上回った。12月は、引き続きコートやマフラー、手袋などの防寒関係の商品が好調だったものの、大雪の影響により客数が伸び悩んだため、おおむね横ばいで推移した。なお、日本百貨店協会によると、東北地区の1月の売上高は、前年同月比で1.1%減となっている。

スーパーは、11月以降気温が低く推移したことから、防寒関係を中心とした衣料品が好調だったものの、生鮮食料品が相場安などの影響で振るわず、全体では前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(1月)[家計動向関連(現状)]

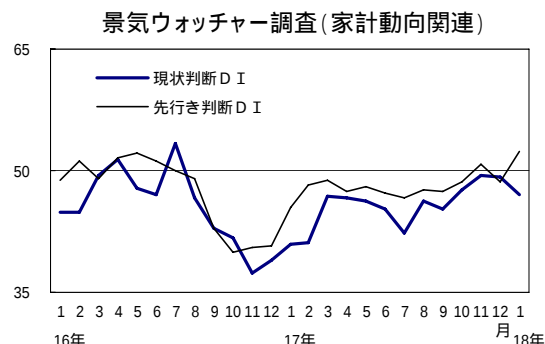
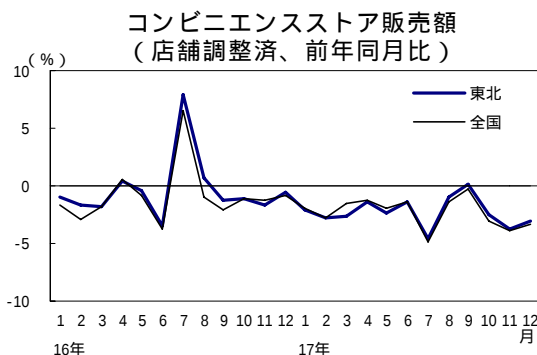
「降雪による客足への影響と、寒いなか防寒物の需要はあるものの婦人アパレルにおいてコートの生産不足による売り逃しが多く、前年割れの状況が続いている(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	(前年同期比、%)			
	17年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
大型小売店	▲4.8	▲3.8	▲3.8	▲1.5
百貨店	▲3.7	▲2.8	▲2.9	0.9
スーパー	▲5.1	▲4.1	▲4.0	▲2.5
コンビニ	▲2.5	▲1.7	▲1.8	▲3.1
景気ウォッチャー	43.0	46.1	44.6	48.7

(備考) 1. 大型小売店及びコンビニは店舗調整済。

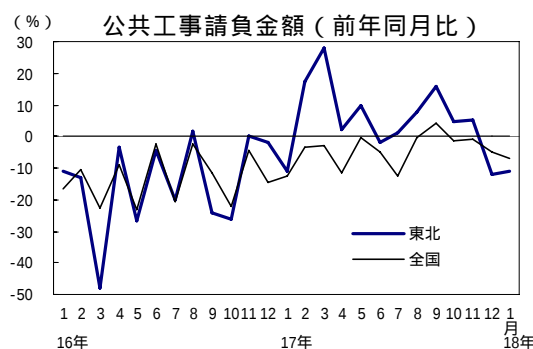
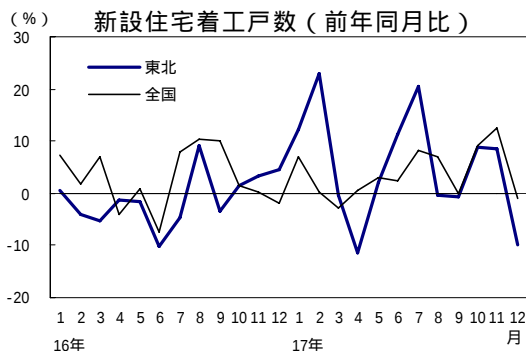
2. 景気ウォッチャーは家計動向関連の現状判断DIの3か月平均。



(2) 住宅建設は増加している。

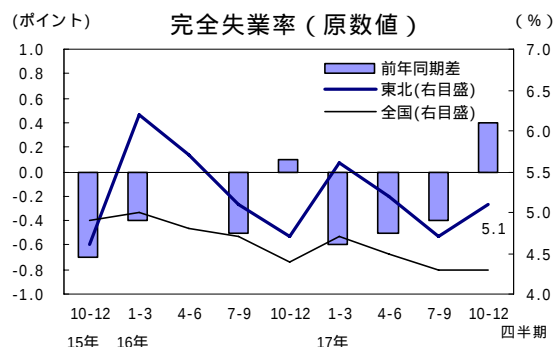
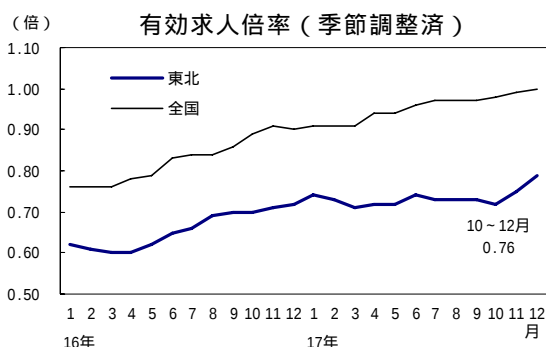
貸家、分譲が前年を上回ったことから全体でも増加している。

(3) 公共投資は17年度累計で見ると前年度とほぼ同水準になっている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きも強い。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を上回っている。



景気ウォッチャー調査 (1月) [雇用関連 (現状)]

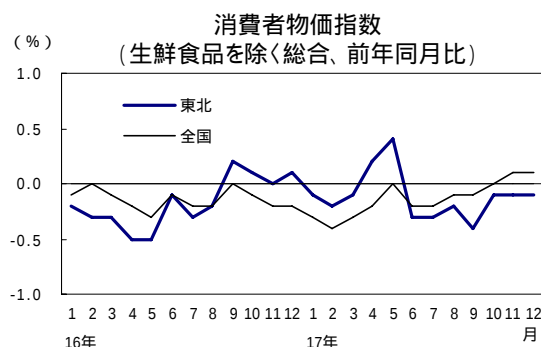
「年明けは動きが鈍かった求人も中盤から動き始め好調だが、案件に合う人材が少なく数少ない応募から人選をせざるをえない状況は変わらない。経験より人物重視で試みに採用してもらう場合が増えている (人材派遣会社)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

- (3) 消費者物価指数は下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	17年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	18年1月
倒産件数	234	247	248	218	46
(前年比)	▲4.1	1.2	11.7	▲8.8	▲44.6
負債総額	832	956	983	734	245
(前年比)	3.8	▲10.6	121.3	▲48.9	▲43.2



- 景気ウォッチャー調査 (1月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・客に電話をしても、大雪のために除雪で疲れているとか、屋根の雪下ろしなどの除雪費がかかり、気分的にも洋服どころではないなどと言われる (衣料品専門店)

<先行き>

- ・年明けから多くの住宅会社が受注をそれなりに確保できているようであり、3か月後にその効果が出てくる (その他企業 [企画業])

景気ウォッチャー調査 (合計)

